

かみふらの 議会だより

第 92 号

2016 年 10 月 25 日発行

発行 上富良野町議会

Contents

2p 第3回定例会

被害甚大 災害復旧費可決

6p 一般質問

12p ぴかっと輝くまちのひと

ジオ書道

4.4 億円補正



集中豪雨により洗掘した本流の沢道路

集中豪雨による災害復旧費可決

7月31日午後に発生した清富を主とした集中豪雨、8月17日からの4つの台風による水害の被害は全町におよび、平成23年を上回る被害となりました。農作物も1億円近くの被害、河川・道路、道路側溝や柵等の工作物も含め、公共施設等も被害を受けました。

7月31日に清富地区に降った大雨は、1時間当たり最大90mm以上、6時間で263mmとなり、旭野、日新地区等、東部地区に集中しました。被災箇所は34か所となり、河川、町道、農道、農地、公共施設等が被害を受け、災害復旧費2億8千611万7千円を含む、2億6千440万円の専決処分を承認可決しました。

第3回定例会を9月13日から14日の2日間開催し、各会計の補正予算、人事案件などを審議し可決しました。
また、4名の議員が町長・教育長へ防災や教育についての一般質問を行い、町の考えを問いました。

■ 9月補正予算の状況 ■

会 計 名			補正額	総予算額
一 般 会 計			8319 万 1 千円	78 億 4123 万 9 千円
特別会計	国 民 健 康 保 険		0 円	15 億 9794 万 8 千円
	介 護 保 険 事 業		380 万 1 千円	8 億 7989 万 6 千円
	ラベンダーハイツ事業		3 万円	3 億 825 万 6 千円
企業会計	病院事業	収益的支出	—	9 億 1243 万 5 千円
		資本的支出	15 万円	3618 万 4 千円

※国民健康保険特別会計は予算の組み替えのため、補正額は0円です。

地方交付税等の確定・道営経営体基盤整備事業量の増加等による8千319万1千円の補正予算のうち、上富良野小学校の防災資機材庫の改修について、補正理由の緊急性が感じられず、設置当初の防災資機材庫としての目的が明確であり、改修して車庫としての機能を併せることは、目的から外れるのではないかとの疑問があり、提案の理由の必要性は理解するも、施設の規模・場所など再考されることとして、附帯意見を付けて原案可決されました。

補正予算

一般会計補正予算を

附帯意見付で可決

被害甚大 総額



集中豪雨により洗掘した清富地区の農地



台風による大雨により崩落した鰍の沢道路

台風が8月17日から30日まで4個、北海道上陸という前代未聞の出来事となり、連日の雨で、土壌中の水分は飽和状態となりました。

23日の降雨は全町におよび、河川等も土砂による河床上昇により、水害を受ける事となりました。被災箇所は225か所、災害復旧費2億1千260万8千円を含む、1億7千740万円の専決処分を承認可決しました。

全町的な農家の受けた水害に対し、農道、圃場取付道、田畑のり面、田畑の洗掘等の農地災害復旧費500万円を増額し、予備費500万円減額の専決処分を承認可決しました。



第5回臨時会（7月11日開催）

上富良野町名誉町民条例の一部を改正

新たに「特別名誉町民」の称号を加え、町の発展に優れた功績があつた者を基準として授与するものであり、合わせて特別名誉町民の決定、待遇、取消、及び手続き等について改正されました。

このことに伴い、名誉町民審議会（7名）の開催、顕彰額、記念品等を贈るため、一般会計補正予算（第3号）において、町表彰費21万円を増額し、予備費21万円を減額する案が可決されました。

財産の取得について可決

現在、町営スキー場で使用している圧雪車は、平成元年、十勝岳噴火に伴う屋外避難所、ヘリポートの圧雪作業等に使用するため、昭和61年式車両を購入。現在、町営スキー場グレンデ、クロスカントリーコースの整備に使用し、30年が経過、整備箇所も増え費用も多額となっています。

また、シーズン中故障が生じると、修理が困難となるため更新を図るもので、取得金額2千427万8千400円で、北海道市町村備荒資金組合から、平成28年12月16日の納期で、原案通り可決されました。

おしえて!! 『専決処分』って な～に？

専決処分は本来、議会の議決・決定を経なければならない事項について、町長が地方自治法の規定に基づいて、議会の議決・決定の前に、自ら処理することです。直近の議会に報告し、承認を得なければなりません。

人
事

教育委員会教育長に服部久和さんを
任命する議案が提出され、全員賛成で
同意しました。



服部 久和さん（再）
本町 5 丁目

教育委員会委員に菅野博和さんを任
命する議案が提出され、全員賛成で同
意しました。



菅野 博和さん（再）
西 12 線

条
例

上富良野町債権管理条例

町がもつ公債権（住民税や固定資産税、国保税、保育料等）及び私債権（水道料金や町営住宅使用料等）を統一的に管理し、私債権放棄などの規定がある「上富良野町債権管理条例」については、十分な審議時間を要するため、総務産建常任委員会に付託しました。

財
産

情報システム強靱性向上整備

に関する財産の取得

国において、マイナンバー制度に伴う情報連携の開始を控え、本町の情報システムのセキュリティ対策等強化のため、情報システムからインターネット接続系を分離し、LGWAN接続系、マイナンバー利用事務系の3つのネットワーク構成とし、インターネット利用は個々のパソコン通信を禁止し、その他の接続系については、外部への情報の持ち出しを制限するなどのセキュリティ対策強化事業です。取得額は2千635万2千円です。

意見書を国に

提出しました

林業・木材産業の成長産業化に向けた
施策の充実・強化を求める意見書

一、森林環境税（仮称）等を早期に創設し、森林整備や木質バイオマスの有効利用など、森林吸収源対策を推進すること。
二、森林の多面的機能を持続的に発揮し、林業・木材産業の振興と山村における雇用の安定化を図るため、森林整備事業及び治山事業の財源を安定的に確保すること。

一、森林資源の循環利用を通じて林業・木材産業の成長産業化を実現するため、地域の実情を踏まえ、森林整備、木材の加工・流通、利用までの一体的な取り組みに対して支援措置を充実・強化することを強く要望する意見書です。

叙勲

旭日単光章受章



元町議会議員
（平成7年～平成19年）
清水 茂雄さん（88歳）
西町 2 丁目

報 告

債権管理条例の制定必要と判断

総務産建常任委員会は、閉会中の継続調査の件名を「債権管理条例について」に決定、平成28年7月28日及び8月12日、9月6日に委員会を開催し、審査を行いました。

本町においては、所管

極めて重要であることから、債権管理条例の制定について、総務産建常任委員会としては、必要であると判断しました。

が納税しやすい納付なども前向きに検討されることを期待し、また、真に生活が困窮している方に対しては、親切・丁寧に対応されるよう望む、との報告がされました。

課や管理職による滞納処理対策プロジェクトにより、徴収業務に力を注いできたことから、収納率は他の自治体と比べても高水準にあります。一方、債権管理所管課が適切に債権を管理・回収するための全庁的な統一基準がないことから、債権の管理・回収に差異があることなどの問題も見受けられます。

しかし、本町における



総務産建常任委員会の様子

議会広報編集技術レベルアップ研修に参加

議会広報特別委員会は、議会の活動を、より分かりやすく町民に知らせるための広報誌発行に関する調査研修のため、平成28年8月22日から23日までの間、写真学科札幌ビジュアルアーツにおいて写真技術の指導を受け、北海道町村議会議長会主催の議会広報研修会に参加しました。

写真技術研修では、カメラの機能は、価格設定に関わりなく、写真を撮る基本的な性能にはほとんど差がなく、写真は「カメラ」ではなく「人」が撮るので、撮影をするときにはあらかじめ、何を撮るのか構想を明確にすることを学んできました。

議会広報研修会では、住民の興味や関心、ニーズに応えられる内容にすること。見出し、レイア

ウト、記事、写真は読み手が手に取って読みたくなるような工夫と編集技術に習熟すること。また、マスコミなどが取り上げない、地域・行政で起きている問題などを掘り下げて掲載するなど、議会

や行政の仕事ぶりを住民がチェックするための判断材料を提供する役割も、議会広報が担っていると感じた、との報告がされました。



議会広報研修会を受講する広報委員

ズバリ ここが聞きたい！ 一般質問



一般質問とは、定例会において議員が住民の声や自身の考えなどをもとに町部局に対して行財政全般の考え方や疑問を問うことです。執行機関に所信を問い、事実を質すことにより、公正な行政を確保しようとするものです。

議会だよりではスペースの都合上、質問と答弁を要約して掲載しています。詳細は、後日、行政ホームページに掲載します。

議場では臨場感のあるやり取りを傍聴することができますので、ぜひ、議場へお越しください。

ページ	質問議員	質問事項
7	高松 克年 議員	① 町河川の改修整備計画を早急に立てるべき
8	金子 益三 議員	① 子育て支援の一環として学校給食費補助制度の導入について ② LP ガス式移動電源車両導入について
9	米沢 義英 議員	① 災害対策について ② 後期高齢者医療について ③ 予約型乗合タクシーについて ④ 就学援助について
10	佐川 典子 議員	① 上富良野町の災害対策について



河川

— 高松 克年 議員 —

河川の改修整備計画を 財政規模を考えると困難（町長）



水田への越水

高松議員

今回の豪雨・台風で、河川の氾濫による被害が出た。改修が以前の状況に戻すだけでは、地元の住民に理解されないのでは。

向山町長 河川の復旧には、国の査定を受ける公共土木施設災害復旧と、公債の申請による単独災害復旧、町の単独費による復旧がある。

公共土木は、原形復旧が原則で質的改良は行えないのか。

ず、断面改良などは単独災害復旧となる。

高松議員

4年前にも農業被害が起きているが、今年も砂れきによる河床上昇が見受けられる。

町は必要を感じながら、流域に住んでいる住民と、どのように関係を持つていくのか。

向山町長

質的改良は、現在大変困難なことから実施していない。

改修の際、重機の進入

などに協力をお願いし、防御策を取る。

高松議員

町河川の改修整備計画は立てられていないとの事だが、早急に作るべきと思うが。

向山町長 河川の整備は、補助事業もないことから改良計画は持っていない。従来から災害復旧時に改修してきた。

町河川は交付税により措置されていると解しており、整備を進めることは財政規模を考えると困難と思われる、適宜、土砂上げ、河道整備を行う。

高松議員

交付税で措置され、昨年度決算で河川の維持の項目に288万円とあるが、平時において160kmある町河川にはあまりに少ない金額であり、これでは被害の防止にはほど遠い。それにより、今年は4億8千万円もの補正が生まれ、農作物の被害も1億円に上ると思われる。

平時に河川改修整備を



清富開拓の沢川

おしえて!!

『公共災と単独災』ってなに？

災害復旧事業を実施するにあたり、国の査定を受け、国の補助により行うものを『公共災』といい、それ以外の災害復旧事業債により行うものを『単独災』といいます。



— 金子 益三 議員 —

学校給食費の補助制度の導入を 現在導入の考えは無い（教育長）

子
育
て



安心安全で提供されている学校給食

金子議員 近年、多くの自治体で導入されている、学校給食費への補助制度を上富良野町でも導入し、子育て支援の充実を図り、人口減少対策の一環として行う必要を感じる。

服部教育長 教育委員会として給食費軽減のため、定額助成を図り、要保護、準要保護児童生徒に全額支援を行っているので、補助制度の導入する考えは無い。

れない多くの家庭の負担軽減としての考え方は、**服部教育長** 就学援助は基準に基づき認定を行っているが、数名は受けられない現状があるので、時代に併せて基準の見直しを図る必要を感じている。

金子議員 人口減少、定住対策として子育て政策の一環として捉えないか。

向山町長 今後研究し、子育て支援全体が充実したものになるよう取り組む。

防 災

災害時に機動的電源の確保を

住民の安全確保に対策を講じる（町長）

金子議員 災害時の停電に備え、LPガスで発電が可能で自走できる電源車の導入が必要と考えるが。

向山町長 大規模災害時の電源確保は重要と考える。避難指定施設においても無電力施設がある。今後、発電機などの導入を進め有効な対策を講じていく。

LPガスによる移動電源車は必要な場所まで発電もできて、燃料も多様であり望ましいが、導入コストが極めて高額なことから、今後様々な対応を図る。

金子議員 冬期間を考慮すると、電源確保は重要なライフラインと考えるが。

向山町長 災害時に電源

無しでは生活が出来ない実態もあるので、電源確保は重要と考える。

ガス式の発電機も、今後普及が進み安価になった時に大いに検討していきたい。

金子議員 国の助成金や補助金を活用し、導入した自治体もある。

向山町長 町が利用できるような財源も含めて、大いに検討する項目と理解する。



LPガスにより発電可能な移動式電源車



教育

— 米沢 義英 議員 —

就学援助の早めの支給を 早い支給ができるよう進めたい（教育長）

かみふらの

ホーム お知らせ 生活情報 観光情報 移住相談 町の概要 サイトマップ

このページに戻る ホーム・総務・教育委員会・学校教育課・就学援助制度について

就学援助制度について

教育機会の均衡と経済的理由によって就学に困難な者に対する就学奨励を行い、義務教育の円滑な実施を図ることを目的に、就学に関わる費用の一部を援助する制度です。

◆援助対象者

要保護者（要保護児童生徒）：生活保護法に規定する要保護者
準要保護者（準要保護児童生徒）：要保護者に準ずる程度に困難していると、教育委員会が認める者

◆認定対象者

- 生活保護世帯として現在認定されている方
- 世帯全体の前年度の収入金額から基礎基準及び必要経費を控除して算出した額が、町で定める認定基準以下の方
- その他、何らかの事情により経済的に困窮の方

◆申し込み

この援助制度をご希望の方は、就学している学校長へお申し込みください。

◆認定者

就学援助制度について（町行政ホームページより）

米沢議員 国は、入学準備に必要な就学援助金を、児童生徒が必要とする時期に速やかに支給するように求めているが、町の対応は。

服部教育長 学校教育法では、「経済的理由によって、就学困難とみられる学齢児童又は学齢生徒の保護者に対しては、市町村は、必要な援助を与えなければならない。」と規定している。

町では、要保護児童生徒に対し、修学旅行費、

医療費に要する経費を、準要保護児童生徒に対し、学用品費、通学用品費、校外活動費、体育実技用具費、新入学児童生徒学用品費、学校給食費などに要する経費を援助している。

学用品費、通学用品費、新入学児童生徒学用品費などの支給は、早めに支給できるよう進めてきたが、今後検証、検討を行い、少しでも早い支給ができるようとり進めたい。

災害

大雨被害に対する早急な対策を 予算措置をしたい（町長）

米沢議員

7月31日の集中豪雨、8月の台風被害により、清富、東中などの地域において、河川や農作物などに被害が出ており、具体的な救済対策が必要と考えるが。

向山町長

7月31日の豪雨では、馬鈴薯やスイートコーンなどの本格的な収穫期を控えていたことから、緊急な対応が必要と判断し、農地及び農業施設の復旧に対し、予算額500万円を8月2日に専決処分を行い、被災農業者が行う復旧工事に対し、その費用の2分の1について、1農業者100万円を限度として助成を行う。さらに8月の台風被害に対し、必要な予算措置をしたい。

農協の被害調査結果から想定される被害総額は、約7千万円と見込んでいます。今後、災害支援資金への利子補給を行うなど、関係機関と連携したい。

河川改修の恒久的な対策については、災害復旧

事業は原形復旧が基本であることから、断面を拡大するなどの質的改良を伴う工事は難しく、単独災害復旧事業と併せて出せるだけの対応を図りたい。



恒久的な河川改修が必要なピリカ富良野川

防
災

— 佐川 典子 議員 —

町の災害対策は充分か 河川災害等への計画を 防災計画は充分に 住民の不安解消に努める（町長）



パークゴルフ場横の河川の氾濫状況

佐川議員 地域防災計画

に基づく上富良野町防災
会議での意見や課題を伺
う。

向山町長 関係機関など

26名で構成し、新たな課
題は現時点ではない。し
かし、職員の初動マニユ
アルについては様々な事
案への精度を高める必要
がある。

佐川議員 東日本震災

の経験から被災地では、
昨今まち単位で金融機関
やコンビニエンスストア

などと協定を結んでいる

自治体が増えている。

様々な対応に進行形で

考えていくことが防災や

減災と、今後の計画に必
要では。

向山町長 金融機関は災

害時における建物の利活

用や職員の支援、緊急な

支払いに必要な現金の確

保、義援金受付口座の開

設など、公金事務取扱に

関する協定を結んでいる

自治体があり、今後の研

究課題である。

コンビニエンスストア

とは、北海道が5業者と

協定を結んでいる。

町の備蓄内容は、4分

の1程度は流通備蓄を利

用する計画であり、現時

点で単独協定は考えてい

ない。

佐川議員 繰り返し災害

において、町が管理する

普通河川の警戒水位の設

定や、排水路の土砂除去

計画はあるのか。恒久的

な対応を伺う。また、居

住地優先でいいのか伺う。

向山町長 普通河川の警

戒水位や排水路の土砂除

去計画はしていない。管

理範囲が広く、対症療法

に留まっている。恒久的

対応は難しく、単独災害

復旧事業と合わせて対応

する。町の優先順位で進

める。

佐川議員 地域防災計画

の第1章総則には、「減

災」の考え方を防災の基

本方針とするとしている。

災害が起きた時は、復

旧と応急対策で対応する

この事だが、災害対策基

本法にも「予防活動」の

言葉がある。何度も起き

ている場所（特に旭日川）

については予防策が必要

で、計画を持たないでど

うやって居住者が安心を

得られるようにするのか

伺う。

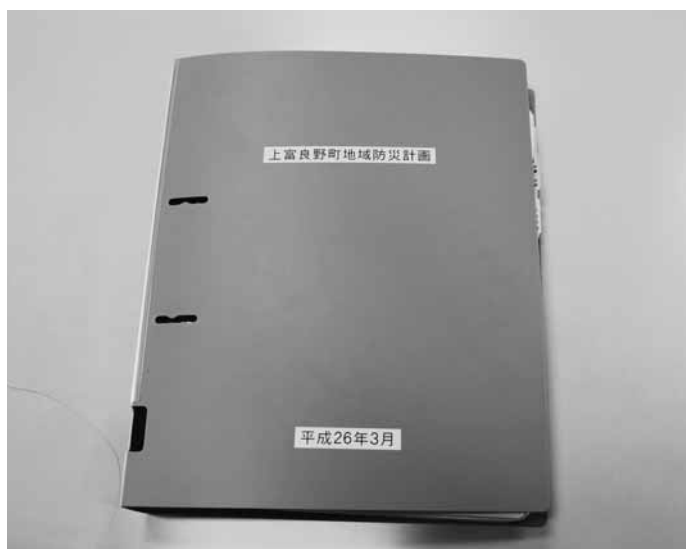
向山町長 極力同じこと

を繰り返しさない様な対応

と、住民の皆様に不安を

与える事は絶対避けて行

きたい。



上富良野町地域防災計画

佐川議員 自治基本条例

の第8章に「地域防災」

があり、「町は、発生が予

測される様々な災害に対

する予防活動、緊急対策

活動及び復旧活動等、総

合的な災害対策に関する

計画を作成し、計画に

沿った対応を進めます」

とある。

向山町長 町の防災計画

は充分であり、計画に伴

い個々の災害に対応する。

議会の窓



7月28日	総務産建常任委員会
8月8日	議会広報特別委員会
12日	総務産建常任委員会
22日	議会広報研修会（～23日）
24日	議会運営委員会
9月2日	台風災害被災現況調査
5日	厚生文教常任委員会
6日	総務産建常任委員会
7日	議会運営委員会
8日	全員協議会
13日	議会広報特別委員会
14日	第3回定例会（1日目）
14日	第3回定例会（2日目）
	全員協議会
21日	議会広報特別委員会
10月3日	総務産建常任委員会
4日	決算特別委員会（1日目）
5日	決算特別委員会（2日目）
5日	決算特別委員会（3日目）
6日	福島県南会津町議会総務委員会視察来町
11日	議会広報特別委員会
13日	議会広報特別委員会
17日	東京都清瀬市議会会派視察来町
	総務産建常任委員会
	先進市町村行政調査（～20日）

◆台風災害被災現況調査を行いました

9月2日に7月、8月に発生した、集中豪雨及び台風によつて被害のあつた町内の道路、河川、農地の調査を行いました。



崩落した鰻の沢道路の調査の様子

◆福島県南会津町議会総務委員会が視察来町しました

10月5日に福島県南会津町議会総務委員会が来町し、「定住・移住による人口増加に向けた取り組み」について調査されました。

◆東京都清瀬市議会会派が視察来町しました

10月13日に東京都清瀬市議会会派が来町し、「行政サービス制限条例」について調査されました。

議会を傍聴してみませんか？

町議会では年4回、3月・6月・9月・12月に定例会を開催し、必要に応じて臨時会を開会しています。

議会の傍聴は、最も身近な議会活動に触れることのできる方法です。議会では住民生活にも関わる様々な案件を真剣に審議しています。

また、定例会では議案のほかにも議員が行政（町長や教育長）へ質問をする「一般質問」も行われます。

次の定例会開会予定は…

12月13日（火）
14日（水）
22日（木）です！

※この日程は変更になる場合がありますので、ご確認のうえ、役場3階の議場までお越しください。

お気軽にお越しください。
たくさんの方の傍聴をお待ちしています！

お問い合わせ
上富良野町議会議務局 電話 6992

み～つけた!!

☆ぴか☆つと輝くまちのひと

平成24年3月14日法人登記。24歳でスタート。障がいのある方が、日々集い、各人の状況に応じた仕事や交流の出来る場を提供し、身に付けた技術を持って、就職への道筋をつける目標を掲げ取り組んでいます。

は、少しずつ理解され、利用者も増え、現在に至っています。もうひとつの柱として、インターネットを使った通信販売業務（amazon・楽天・ヤフオク）で、DVD・書籍・ビデオテープを取扱い、国内外からも広く問い合わせや注文を受けています。

始めの1年は、この事業がこの町の障がい者の方々に必要とされているのか、不安の中経過した時でしたが、2年目以降

生まれ育った大好きなこの町で起業



ヒューマンインターフェイス株式会社
代表取締役 鈴木 康治朗さん

町内で福祉関係事業を創業され、滝川市にも支店を展開している若き経営者にお会いし、インタビューいたしました。

地域に根差した事業展開

事務所を訪れた時間は午後3時30分過ぎ。1日の仕事を終えた利用者の方々の退社の時間。全員に元気な声であいさつを掛けられ入室しました。

現在、スタッフは鈴木社長を含め7名、利用者登録されている方が34名。町内をはじめ、富良野市・中富良野町へはマイクロスバスにて、また美瑛町・東神楽町・旭川市へは乗用車にて送迎し、仕事等両面において、きめ細やかなサービスを提供しています。

町より依頼を受け、ラベンダーグッズ・香り袋・小物づくり（クリップ・キーホルダー）等の制作に取り組んでいます。これらは、役場町民生活課カウンターに置かれており、ご覧になれます。地域のイベント、四季

彩まつりに初出店し、「町内の商工業者の皆さんの協力を得て、新たな交流を広げ、良い体験を積み、無事に終了できた」と喜んでいました。

また、現在待機されている方がまだ5名程いるため、気掛かりな点として、「今後について、体制づくりの検討時期に入った」とのことです。

現状では満足していない、経営者としてのビジョンを覗かせた面もうかがえたひと時でした。



作業をする利用者さん

（インタビュー…竹山）

ひとりごと…

■議員として一年が経過しました。改めて月日の流れを早く感じております。

■広報委員として、多くの町民の皆様議会だよりを見て頂けるように委員長を中心に頑張っておりますが、まだまだ工夫する部分が多くあると思います。議会だよりを見ての感想、意見を頂ければと思います。

■7月31日の局地的集中豪雨、8月17日、21日、23日の台風による大雨により町内の道路・河川をはじめ排水路、公共施設、農作物等に大きな被害が発生しました。被害にあわれた町民の皆様にお見舞いを申し上げます。

（中瀬 記）

議会広報特別委員会

委員長	米沢 義英
副委員長	高松 克年
委員	北條 隆男
	竹山 正一
	荒生 博一
	中瀬 実